

# 議会だより



平成29年度鹿部町長杯争奪パークゴルフ大会始球式でスタート！（4月9日）

## 第69号の掲載内容

- 第1回臨時会の概要…………… 2 P
- 第1回定例会の概要…………… 4 P～5 P
- 議会の行事……………10P
- 議会議員の紹介…………… 3 P
- 一般質問…………… 6 P～9 P

発行／鹿部町議会 編集／鹿部町議会運営委員会

委員長 浦 梅吉、副委員長 千葉 光義  
委員 船橋 敦子、委員 高橋 茂夫

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字宮浜299  
TEL 01372-7-5296（直通） FAX 01372-7-3086

# ～平成29年第1回臨時会～

## 議長に中川一議員 副議長に川村裕司議員

新しい議会構成が決定

任期満了（2月19日）に伴う改選後、初めての議会が2月20日に開催されました。

議長・副議長の選挙、議席の指定、各常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任、広域連合議会議員・組合議会議員の選挙を行い、その後、提出された議案等を審議し、全て原案のとおり可決・承認・同意し閉会しました。

なお議会構成、議案等の主な内容は次のとおりです。

### 選挙

◆議長の選挙	※投票総数	9票
※有効投票	9票	
※無効投票	0票	
有効投票数のうち		
中川 一	8票	
佐藤 頼幸	1票	
◆副議長の選挙	※投票総数	9票
※有効投票	9票	
※無効投票	0票	
有効投票数のうち		
川村 裕司	8票	
佐藤 頼幸	1票	

（次の二つの選挙は議長の指名推薦により決定）

◆渡島廃棄物処理広域連合議会議員	船橋敦子、三谷百十樹
◆南渡島消防事務組合議会議員	浦梅吉、川村裕司、高橋茂夫

### 常任委員会

◆総務経済常任委員会	◎委員長 吉 英樹
○副委員長 三谷百十樹	委員 野田 重毅
	浦 梅吉
	川村 裕司
◆民生文教常任委員会	◎委員長 船橋 敦子
○副委員長 高橋 茂夫	委員 千葉 光義
	中川 一
	佐藤 頼幸
◆議会運営委員会	◎委員長 浦 梅吉
○副委員長 千葉 光義	委員 高橋 茂夫
	船橋 敦子

※委員の任期は2年  
※委員は議席順に掲載

### 同意（人事）

◆鹿部町監査委員の選任  
○議会選出  
任期満了により、高橋茂夫議員を選任することに同意しました。

### 承認

○識見を有する者  
任期満了により、上野憲一氏を再度選任することに同意しました。

◆平成28年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について  
地方自治法の規定により、平成29年1月16日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ1億6203万8千円を追加し、予算総額を30億4552万7千円としました。

### 補正予算

◆平成28年度鹿部町一般会計補正予算について  
歳入歳出それぞれ248万4千円を減額し、予算総額を30億4304万3千円としました。

内容は、公民館改修に係る設計及び工事請負費の入札減が主なものです。

# 議会議員の紹介

去る2月5日執行の鹿部町議会議員選挙において当選した、鹿部町議会議員10名を紹介します。

(任期：平成29年2月20日～平成33年2月19日まで)

議席番号、氏名、年齢（4月1日現在）

①新・現・元、②当選回数、③職業



10番 副議長

川村 裕司 67歳

①現、②3回、③商業



6番 議長

中川 一 67歳

①現、②5回、③自営業



4番

野田 重毅 69歳

①現、②8回、③漁業



3番

千葉 光義 72歳

①元、②6回、③漁業



2番

吉 英樹 63歳

①現、②3回、③会社役員



1番

高橋 茂夫 70歳

①新、②1回、③無職



9番

三谷 百十樹 47歳

①新、②1回、③自営業



8番

佐藤 頼幸 69歳

①現、②9回、③飲食業



7番

浦 梅吉 73歳

①現、②5回、③漁業



5番

船橋 敦子 65歳

①現、②3回、③会社役員

## 議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、  
6月上旬に  
開催される予定です。

～傍聴手続きは簡単です～  
傍聴席の入り口にある傍聴人名簿  
に住所と氏名を記入するだけです。



# ～平成29年第1回定例会～

● 3月9日～3月10日  
(会期は4日間で、実日数は2日開催)

## 平成29年度一般会計予算可決 28億4,700万円

当初予算規模は、前年度当初予算対比で9百万円(0.32%)の増額となりました。

主な内容は下記のとおりです。

各会計予算については表1のとおりです。また、平成29年度予算の概要については、広報しかべ4月号に掲載しておりますので、省略いたします。

### 主な内容

- 行政ネットワーク更改事業の増
- 町内防犯灯LED化による増
- 鹿部小学校校舎改修事業の増
- 大規模災害に伴う避難所開設のための備品購入費の増
- 中央公民館改修事業完了による減

今定例会は、平成29年度一般会計予算及び特別会計予算等の議案5件について、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会に付託され、審査の結果いずれも原案どおり可決すべきものと決定され、委員長報告のとおり可決されました。

上記5件のほかに

- 町長提出議案 10件
- 同意(副町長の選任) 1件

全て原案のとおり可決、同意し、閉会しました。

表1

単位：千円

会計別	年度別	29年度	28年度	増減額	増減率
一	般 会 計	2,847,000	2,838,000	9,000	0.32%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	999,000	1,083,543	▲ 84,543	▲ 7.80%
	介 護 保 険 事 業	395,023	376,161	18,862	5.01%
	後 期 高 齢 者 医 療	51,410	50,015	1,395	2.79%
	小 計	1,445,443	1,509,719	▲ 64,286	▲ 4.26%
水 道 事 業 会 計		162,275	182,069	▲ 19,794	▲ 10.87%

※一般会計は、平成28年度一般会計予算より事業の繰越を予定している「個人番号カード交付事業」及び国の補正予算に伴う繰越事業の「経済対策分臨時福祉給付金」を合わせた事業費、1,392万3千円を加え、総額は28億6,092万3千円となります。

※水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

### 補正予算

◆平成28年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ697万2千円を減額し、予算総額29億7329万1千円としました。

内容は、予算の精査によるもので、工事請負費等の入札減及び各科目の執行見込による減額が主なものです。

一方追加は、国の補正予算である経済対策分臨時福祉給付金の事業費として、1438万円の追加が主なものです。(※年度末までの期間が短いため、内1354万5千円は予算繰越措置をしています。)

◆平成28年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ538万7千円を減額し、予算総額11億384万5千円としました。

内容は、予算の精査による執行見込の減額が主なものです。

◆平成28年度鹿部町後期高齢者医療特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ146万7千円を追加し、予算総額5141万7千円としました。

内容は、後期高齢者医療広域連合納付金の額確定による追加が主なものです。

## 条 例

◆鹿部町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び

鹿部町職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容は、平成28年12月に公布された地方公務員の育児休業に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律に基づき、所要の改正を行うものです。

◆鹿部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置する鹿部町学校運営協議会(※)委員について地方自治法の規定に基づき、非常勤の特別職に追加する改正です。

※鹿部町学校運営協議会とは、教育委員会及び校長等の権限と責任の下、学校と保護者、地域住民と一体になって学校運営の改善や生徒等の健全育成に取り組むための組織です。

◆鹿部町税条例等の一部を改正する条例の制定について

平成28年11月に公布された地方税法・地方交付税法及び地方税施行令の一部を改正する法律に基づき、本条例の一部を改正するものです。

主な内容は、住宅ローン控除制度の適用期限の延長、軽自動車税のグリーン化特例の延長、消費税率引上げ時期の変更に伴う法人税割の税率の改正及び軽自動車税の環境性能割の導入の時期変更に伴う規定の整備外です。

◆鹿部町障害支援区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第5次地方分権一括法の施行により、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令の一部が改正されたことに伴い、本条例の一部を改正するものです。

内容は、障害支援区分認定審査会委員の任期について、2年を超えて3年以下の期間を市町村条例で定めることとされたことから、本町の委員の任期を3年とするものです。

◆鹿部町指定地域密着型

サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

内容は、介護保険法施行規則等の一部改正にあわせ、指定地域密着型サービスの事業に関する運営基準等が改正され、地域密着型通所介護に係る基準を国の基準省令に基づき市町村条例で定めることとされたことに伴う本条例の一部改正です。

◆鹿部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

内容は、介護保険法施行規則等の一部改正により、指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する運営基準等が改正されたことに伴い、本条例の一部を改正するもので、通所介護事業者において、運営推進会議の設置義務を追加するものです。

## そ の 他

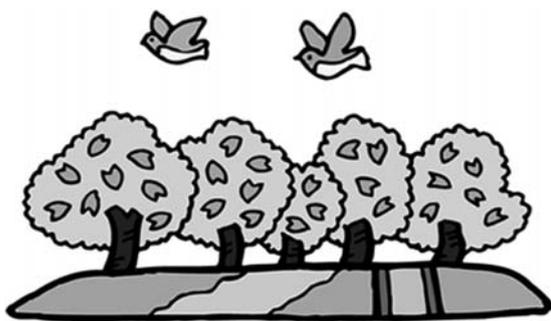
◆資源ごみ及びし尿等の処理に係る森町への事務委託について

当町の資源ごみ、し尿及び浄化槽汚泥の処理について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに地方自治法の規定により、例年のおり森町へ委託することについて議会の議決を求めたものです。

## 同意(人事)

◆鹿部町副町長の選任について

新しい副町長に、大村師正氏(鹿部町字宮浜310番地4)が選任され、満場一致で同意されました。





佐藤頼幸 議員

町長の公約について

今回の選挙で投票数の3分の2以上の得票を得て当選され、町民は盛田町長に大変期待していると思えます。

そこで町長は3つの約束として、町の魅力を高める多様な人材育成、子供・お年寄りの幸せとしており、これらを実現するため、20の項目がチラシに書かれています。より具体的な内容について説明願います。

また、当選後の新聞記事では、目指す町づくりとして、日本一の魅力ある漁師の町と行ってみたいと思わせる町を目指すとの記事がありました。具体的な内容のような町か、例をあげて説明してください。

■公約や目指す町づくりについて、限られた財源を選択と集中にて有効活用し、町民皆様方と一丸となり進めてまいります。

(答弁者)  
盛田昌彦 町長

私の公約についてでございますが、私は、短い選挙期間中ではございましたが、今までの経験からチラシにて、3つのお約束を掲げました。そのお約束を実現するため、11の項目にわたる事業目標をお示しいたしました。

私を知らない多くの町民の皆様、私の基本的な考え方や運営姿勢が伝わるように、なるべくシンプルに掲げた目標でございます。この目標に向け各世代みんなで議論し、より良い政策へと押し上げていただき、

50年後、100年後に我々の後輩たちが、じいちゃん、ばあちゃん、ひいじいちゃんたちが、覚悟をもって決めてくれたんだ、俺たちも勇気をもってチャレンジするか、と言ってくれるような政策が築ければと考えております。

お約束の1つ目は、町の魅力を高めるといたしまして、全国的な人口減少の危機は、本町におきましても同じであります。私がお世話になった中学の野球部からは、練習中の賑やかな声が消え、一つのチームとしては成り立たず、たった1組、2人でキャッチボールをしている姿を目にした時には、胸が痛く、目の奥に熱いものが湧き上がってまいりました。

元気な子供たちの声を絶やさないためには、やはり町自体に魅力がなくてはいいけない、その思いから1つ目とさせていただきます。

その実現に向けて、まずは本町のすべての産業へと波及する基幹産業である漁業の振興が最優先であり、漁業者が安心して、

ここ鹿部で従事できる体制づくり、セーフティーネットの充実を図ることが必要と考えました。

漁業者への保険制度支援では、利子補給や借入条件の緩和などを、漁業支援ワンストップ窓口の設置につきまして、各種補助制度や経営指導など、人づくりに対する支援を、漁業従事者の人員確保支援につきましては、一部の漁家におきまして、外国人研修生の受入などが行われておりますが、空き家等の提供はできないのか、関係機関と協議を行ってまいります。

廃棄物処理の支援につきましては、今後とも、いい対策や生産性のある処理方法など、革新的取組への協議、研究を進めてまいります。

そして、高齢化が進む中、前浜で従事が可能であります浅海漁業や漁船漁業支援も大変重要と考えてございますので、攻めの姿勢で支援、拡充を図ってまいります。

現在行っております、昆布、ウニ、ナマコなど育てる漁業への支援の継続はも

ちろん、他の魚種につきましても協議を進めてまいります。

また、あらゆる魚種が集まる、昆布礁などの設置のほか、有望な魚種の漁場造成も検討してまいります。

2つ目といたしまして、地場企業支援による雇用・賑わいづくりを掲げさせていただきます。

地元企業の活性化支援は、私の行政経験から、強い思いがございますので、鹿部流の取組方で地域循環型経済の構築を図ってまいりたいと考えております。

地元企業振興条例の制定につきましては、先進地事例を参考に、漁協や漁業者も含め地元企業や町民、行政の役割を明確にいたしまして、地域循環型経済の構築を目指してまいります。

担い手対策、リフォーム支援、商品開発支援につきましては、平成28年度に実施いたしましたアンケートなどをもとに有効な対策、規模などを協議してまいります。

ITの活用による販路拡大支援につきましては、

まずは、受け皿となる団体等の育成を検討、協議してまいります。

間伐材・地熱エネルギー等を活用した新産業構築につきましても、木質ペレットやハウス栽培など管内の先進地事例を参考としながら協議を進めてまいりたいと考えております。

こちらは、町の魅力、雇用の場として大変重要と考えておりますので、果敢にチャレンジしたいと考えております。

3つ目といたしまして、道の駅を拠点とした観光によるまちづくりを掲げさせていただきます。

総合産業でございます観光を軸に町民一人一人が主役となり、輝いていただき、笑顔あふれ、光り輝く町へ繋げてまいりたいと考えております。

顔の見える漁業構築のため商品開発や試験販売の実施・週末市場開設につきましても、水産加工業者による開発・取組は進んでおりますが、浜の母さんや漁業者が自ら販売できる仕組みづくりを検討してまいりたいと考えております。

温泉利活用施設拡充・交通体制整備・各公共施設との連携強化・情報発信機能強化につきましては、間歇泉公園第2期周辺整備計画の中において協議、検討してまいります。

滞在型、広域、インバウンド観光の推進につきましては、今までどおり観光促進事業の中において進めてまいりたいと考えております。



4つ目といたしまして、行財政改革による財政規律の堅持を掲げさせていただきます。

財政規律とありますが、意味合いとしては健全財政の意味で使わせていただきます。

ました。

町民満足度調査につきましては、全職員参加による町民の生活実態調査でございます。行政施策の基礎資料として活用いたしますが、職員にとつては重要な研修の場となりますので、早い段階にその方法等を協議してまいります。

まちづくり基本条例策定・対話ミーティングの実施につきましては、開かれた町政づくりに重要な政策でございます。

町民主体のまちづくりを基本といたしまして、条例制定の議論を通じ、まちづくりの主体は町民であると住民自治の原点を再確認し、行政の役割を明確にし、住民自治を将来にわたって実行するために町ぐるみでの協議を進めてまいりたいと考えております。

黒塗りの町長車廃止につきましては、町長の専用車ではなく多目的に利用できる車を検討してまいります。

定期的な勉強会の実施などによる活気ある行政組織構築につきましては、まずは管理職から定期的な勉強会を開催し、社会情勢など

の変化に対応できる、成長する組織としていく考えでございます。

お約束の2つ目には、多様な人材育成といたしました。

教育は、国や町づくりの礎でありまして、もっとも重要視すべき分野の一つでございます。

また、人口減問題同様、人材の育成につきましても、各界、各分野におきまして大変厳しい状況となっておりますのでございます。

家庭環境や地域事情によって子供たちが自分の夢をあきらめることのないよう、行政として最大限支援してまいりたいとの想いから、2つ目のお約束とさせていただきます。

まず、スポーツ・文化活動支援強化を掲げました。

現在、育成事業や社会教育事業等もかなり精力的に行っておりますが、さらなる支援を行ってまいります。次に、郷土愛づくりを掲げております。

他の地域や世界へと羽ばたいていく、我が鹿部っ子、その地で活躍するためには、まずは、ふるさとを

しっかりと語ることができ、ふるさとへの愛着がなくてはならないと考えております。

このことから、鹿部検定の実施につきましては、ふるさと鹿部町を語る上で大変重要であると考えるところに、既に問題作成の協力をいただいておりますので、検定実施に向け体制づくりを行ってまいりたいと考えております。

また、漁業や観光に特化したものなど、いろいろな活用法を考えて、利用してまいりたいと考えております。

お祭り、鹿部小唄等保存支援につきましては、文化継承の観点から、年配の方から子供まで一緒に踊ることのできる鹿部小唄の踊りを教育現場に取り入れることはできないのか、また、保存会などの組織を作ることとはできないのかなど、協議を呼び掛けてまいりたいと考えております。

最後に、人間力を意識した教育環境の充実を掲げております。

物事に意欲的に挑戦し、他の人と協力して困難を克

服できるような知識と知恵、教養と修養を兼ね備えた鹿部っ子を育てていきたいと考えております。

このことから、海賊キャンプ実施は大変重要であると考えております。

このキャンプは内容など決まっておらず、子供たち自らやりたいことを決めて行うものでございまして、生きるための体験を行う場でございます。

先進地では、人口よりも多くの子供たちが参加するようになっていると聞いており、2泊3日のキャンプから移住へとつながっている例もあると伺っておりますので実施に向けて協議してまいります。

高度教育支援につきましては、学習サポートをお手伝いしてくれる方々の有効活用を検討してまいります。有名校進学だけが全てではございませんが、夢をかなえる一つとして検討してまいります。

お約束の3つ目は、各世代が安心して暮らせることができますよう、子ども、お年寄りの幸せといたしました。

1つ目には、高齢者福祉の充実を掲げまして、空き家利用による地域コミュニティカーフェ整備につきまして、高齢者や障害のある方、子育て世代の枠を取り払った施設をイメージしております。

運営面でも高齢者や子育て世代の方々がかかわることのできるような仕組みづくり、共生型地域福祉拠点づくりに向け協議してまいります。

また、プラチナ人材センター構築につきましては、シルバー人材センターに子育て世代や学生などを加えまして、どなたでも得意分野を生かせるような仕組みをイメージしております。特にリゾートパワーを發揮していたりしながら、間口除雪や教育、地域交通など全ての政策に活用できる仕組みづくりに向け協議してまいります。

次に、減災体制づくりでは、町内会の機能充実に向けた、町内会単位での連携、コミュニケーションがとりやすい仕組みづくりの検討をしてまいります。

地域担当職員配置につき

ましては、役場の人がわからなくて不安だ、との声がございましたので、普段からコミュニケーションをとれる対応を協議してまいります。

定期的な訓練の実施につきましては、いざというときに、速やかに対応できますよう定期的にマニュアルの確認や訓練を実施してまいります。

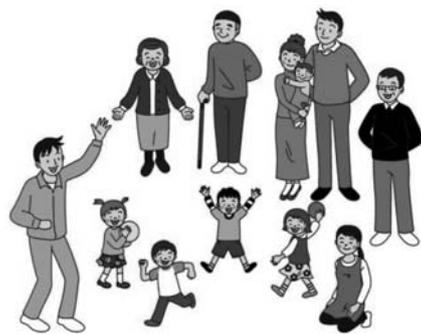
次に、地域交通体制づくりでは、交通弱者支援のための新たな交通体制構築に向け協議してまいります。

最後に、子育て世代支援ですが、あらゆる場面での子育て支援や保育体制の充実に向け、夏休み、冬休みに幼稚園の子供たちを預かることのできる体制を早急に整備できるよう協議してまいります。また、0歳から2歳までの子供を預かるシステムについても協議、検討してまいります。

教材の無料化につきましては、幼少中の教材、ドリルやテキストなどの無料化に向けて検討してまいります。

地域コミュニティカーフェ整備につきましては、高

齢者対策と同様、どなたでも利用可能なスペースの構築に向け協議してまいります。



また、皆様とともに共有しておきたい目指すべき町の姿として私が訴えてまいりましたのが、日本一魅力ある漁師町、日本一行ってみたい、住んでみたい漁師町と言っていただけのまちでございます。

私は、鹿部町がひとつの揺るぎ無いチームとして、他の町、地域に立ち向かい、必ずやり抜くんだ、絶対成し遂げるんだと確固たる想いが無い限り、夢、志、は達成できないと考えております。

秀峰駒ヶ岳を仰ぎ、どこまでも続く水平線、太平洋を眼下にゴルフ場が二つも

あり、民間の飛行場もあり、道内で唯一の漁業研修所もある。どこにも負けない働き者の漁師たちに、水産加工場の方々、すぐ近くには静かな森に囲まれたリゾートが広がり、温泉が豊富で全国的にも珍しい間歇泉を有し、おいしいタラ鍋、イカ刺し、うに、たらこ、真昆布たつぷりでだしを取ったタコしゃぶ、マツカワガレイにあぶらこ、浜のかあさんたちが切り盛りする食堂があり、地元食材を温泉で蒸すことができ、町内には素晴らしい飲食店、一軒宿の歴史ある旅館からホテルまである。加えて、スポーツや文化サークルなどのコミュニティももしっかり充実している。

現在でも、これだけ素晴らしい町に、顔の見える漁業をしつかりと浸透させ、都会の人たちが漁師や浜の母さん、じいちゃんに会いに来る、磯を開放して、子供たちの歓声が響き渡る、育てる漁業や思い切った漁場造成などにより漁業者の所得は向上し、加工屋さんもブランド化に成功し、付加価値の高い商品を全国、

世界へと発信、販売している。浜の方々もリゾートに別荘を持ち、従業員と温泉でリフレッシュをして、また厳寒の海へと出ていく。

高齢者や子育て世代のためのカフェや福祉施設が充実していて、地域内のすべての産業で循環が始まり、自然エネルギーなどを活用した新たな産業が雇用を生み、地熱、温泉熱などで野菜やフルーツも作る事ができる。

90才になつても浜の母さん食堂で働き、海藻を道の駅へ出荷して、孫に家がプレゼントできる、我が子、孫にもここに住んでもらいたい、じいちゃん、ばあちゃんがいる鹿部で働きたい、そう言える、笑顔いっぱい、の一人一人が輝くまち。

それこそが、日本一魅力ある漁師町、日本一行つてみたい、住んでみたい漁師町の私のイメージでございます。

この夢を皆様と語り、よい良い夢へと押し上げて、共有し、絶対成し遂げるんだと確固たる思いで、一歩一歩着実に進めてまいりたいと考えてございます。

私は、次の世代へ何を残し、何を残さないのか、各世代がともに悩み、決定し、胸を張って次世代へ引き継いでいかなければならない、そう訴えてまいりました。

当然、そこには健全財政の基盤がなくてはなりません。限られた財源を選択と集中にて有効活用することが基本でございます。

各世代、皆様の出番を創出し、小さな気づきや想いを大切に、対話のある、こころ豊かな、笑顔あふれ、光り輝く町を目指し、議員各位並びに町民皆様方と一丸となり進めてまいる所存でございます。

以上、佐藤議員の一般質問に対する答弁といたします。

### ■再質問、再々質問の要約。

(質問者)

佐藤 頼 幸 議員

盤石な漁業体制づくり、育てる漁業支援について、鹿部漁業組合とどのような話し合いを進めていくのか、漁業振興会議以外にどのようなものを考えているか、保険制度支援強化、人材育

成確保支援、廃棄物処理の支援は、具体的にどのような支援を考えているか、全ての漁師への支援制度をどのように考えているか、漁業者ワンストップ窓口業務とはどのような制度かを説明してください。

人口減少を止める政策は、雇用の場の提供が最も重要であり、職場を新たに作るには相応な誘致等が必要です。現在の企業を拡大し、従業員を増やす方法もあると思いますが、どのように

また、地元企業振興制度について、各条例案の具体的方向性を教えてください。間伐材地熱エネルギー等新産業の構築とは地元から新産業を生み出すということですか。

行政改革による財政規模の維持は、議員の定数削減、人件費の抑制、さらなる補助事業の抑制など考えられており、七飯町との合併破談後、行政改革を進めてきました。一方的行政改革ではなく、町民も納得できる方法が良いと思いが、どうお考えですか。道の駅観光について、間

歌泉公園の山側整備について設計委託をした事業の内容を教えてください。

魅力あるまちづくりは大変よいことですが、平成17年度から行政改革を進めて築いた安定基盤がこの公約を実現することにより、財政破綻が懸念されますが、1年目に、どれだけの項目を実施し、2年目、3年目でどこまで実施するか、4年間でどのくらいの財源が必要か説明願います。

### ■再答弁、再々答弁の要約。

(答弁者)

盛田 昌彦 町長

所信でも申し述べさせていただきました。また、今年度の挑戦の年といたしまして、今、具体的な法案については、議員初め各関係機関皆さんと議論をし、よい良い政策へと話をしたいと考えております。

私のイメージしているワンストップは、融資制度や漁業経営で窓口が違ったり、漁協の制度、町、国の制度で窓口が違うというような話が聞かれるため、人材を育成して、あらゆる方面で

対応できるような窓口を設けたいという思いから、相談のワンストップ窓口とさせていただきます。

企業誘致にしまして当然、地元企業をしつかり育成支援していき、そこで雇用が増えることが最重要であり、新たな雇用では、先進事例を見習い今までの鹿部になような産業も、できればと考えてございます。

私が皆さんにお約束した部分は、何とか進めてまいりたいと考えておりますが、財政規模などの内容については、今後関係機関とよく話し合い、限りある財源です。選任と集中において行いたい、そして私の掲げている20の中での政策では、仕組みづくりなどソフト面の事業も多くあり、経費がかかるような政策ばかりではないと考えています。

漁場造成など漁業について大規模に行いたいと思う部分は、国の支援も考えながら行っていきたいと思っております。限りある財源の中で、この4年間一緒に皆さんと悩み進めていきたいと考えています。

平成29年2月～平成29年4月 本会議及び各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席、△は遅刻・早退、―は該当なし)

会 議	高橋 茂夫	吉 英樹	千葉 光義	野田 重毅	船橋 敦子	中川 一	浦 梅吉	佐藤 頼幸	三谷 百十樹	川村 裕司
平成29年第1回臨時会(2/20)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
総務経済常任委員会(2/20)	―	○	―	○	―	○	○	―	○	○
民生文教常任委員会(2/20)	○	―	○	―	○	○	―	×	―	―
議会運営委員会(2/20)	○	―	○	―	○	○	○	―	―	―
議会運営委員会(3/6)	○	―	○	―	○	○	○	―	―	―
平成29年第1回定例会(1日目、2日目、3/9～10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年予算審査特別委員会(3/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(議会だより編集 4/11)	○	―	○	―	○	―	○	―	―	―

## 議会の行事

### 1月

- 24日 道道大沼公園鹿部線の北海道要望(議長)
- 31日 渡島廃棄物処理広域連合議会運営委員会(関係議員)

### 2月

- 9日 渡島廃棄物処理広域連合議会定例会(関係議員)
- 10日 新任議員研修会(新任議員)
- 14日 議員懇談会(全議員)
- 15日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会(議長)
- 16日 渡島町村議会議長会定期総会(議長)
- 20日 第1回臨時会(全議員)  
総務経済常任委員会(全委員)  
民生文教常任委員会(全委員)  
議会運営委員会(全委員)
- 21日 道議会議員富原亮新春の集い(議長)

### 3月

- 1日 南渡島消防事務組合議会定例会(関係議員)
- 3日 社会福祉法人渡島福祉会臨時理事会(関係議員)
- 6日 議会運営委員会(全委員)
- 9日 第1回定例会(1日目)(全議員)
- 10日 予算審査特別委員会(全委員)  
第1回定例会(2日目)(全議員)
- 15日 鹿部中学校卒業式(議長及び議員)

- 16日 しかべ幼稚園卒園式(議長及び議員)
- 17日 鹿部小学校卒業式(議長及び議員)
- 18日 衆議院議員前田一男新春の集い(議長)
- 23日 鹿部町社会福祉協議会評議員会(議長)  
渡島福祉会評議員会・理事会(関係議員)
- 28日 教職員合同送別会(議長及び議員)
- 30日 まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議(関係議員)

### 4月

- 6日 鹿部小学校入学式(議長及び議員)  
鹿部中学校入学式(議長及び議員)
- 7日 しかべ幼稚園入園式(議長及び議員)
- 10日 林野火災予防消防対策協議会(議長及び副議長)
- 11日 函館新聞創刊20周年記念式典(議長)  
議会運営委員会(全委員)
- 12日 財務行政懇話会(議長及び議員)
- 14日 町内会連合会総会(議長)
- 15日 参議院議員長谷川岳政経セミナー(議長)
- 17日 鹿部救難所幹部会(議長)
- 19日 北海道漁港漁場協会通常総会及び大会(議長)
- 22日 衆議院議員おおさか誠二陽春の集い(議長及び議員)
- 25日 議会運営委員会(全委員)  
第2回臨時会(全議員)  
第1回議員全員協議会(全議員)
- 26日 渡島町村議会議長会臨時総会(議長)